BUFFALO

MO ディスクドライブ

MOFW-643/A

ハードウェアマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

本書では、製品名を「MOFW」と表記しています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったためにた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：⚠感電注意)が描かれています。
⃠	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：⃠分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：●プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

強制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。

分解禁止

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。

火災や感電の恐れがあります。

強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

禁止

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源プラグがACコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。
また、ACコンセントに接続されていなくても本製品の故障の原因となります。

禁止

イジェクトピンは、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

本製品に付属するイジェクトピンは、小さなお子様の手の届かないところに置き、使用後は放置せずに直ちに片付けるようにしてください。目をついたり、飲み込んだりすると大変危険です。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、パソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電・故障する恐れがあります。

強制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

禁止

レーザー光線を直視しないでください。

ディスク挿入口を開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。

本製品は内部で半導体レーザーを使用しています。レーザー光が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

⚠ 注意

禁止

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

禁止

シンナー・ベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品のよごれは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

パソコンおよび周辺機器の電源スイッチがONの状態で、SCSIケーブルの抜き差しをしないでください。本製品および周辺機器の故障の原因となります。

強制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。
各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

強制

本製品の取り付け／取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをすべて他のメディア（MOディスク、フロッピーディスク等）にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁止

ディスク挿入口に、MOディスク以外のものを挿入しないでください。

MOディスク以外のもの（フロッピーディスクなど）を挿入すると、故障や火災の原因となります。

禁止

MOディスクを入れたまま移動しないでください。

動作中やMOディスクを入れた状態で本製品を移動しないでください。

MOディスク、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずMOディスクを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

禁止

MOディスクを途中まで入れた状態で放置しないでください。

本製品内部にほこりが入り、故障の原因となります。

禁止

ひびわれや変形、補修したMOディスクは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

強制

MOディスク内のデータおよびパソコン内のデータ（ハードディスク等）は、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。

とくに、修復・再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前・更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。以下のような場合に、データは消失・破損する恐れがあります。

- 誤った使い方をしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 故障、修理などのとき
- パソコンの電源スイッチをOFFにした後、すぐに電源スイッチをONにしたとき
- 天災による被害を受けたとき

上記の場合、またその他いかなる場合でも、データが消失・破損したことによる損害は、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁 止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

・強い磁界が発生するところ
・静電気が発生するところ
・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
　→故障の原因となります。

・振動が発生するところ
　→けが、故障、破損の原因となります。

・平らでないところ
　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。

・直射日光が当たるところ
・火気の周辺、または熱気のこもるところ
　→故障や変形の原因となります。

・漏電または漏水の危険があるところ
　→故障や感電の原因となります。

注 意

MOディスクは次の点に注意して大切にお使いください。

・MOディスクに、直接触れたりしないでください。
　→MOディスクのシャッターをあけて、ディスクに直接触れないでください。汚れたり、傷がつくとデータが読めなくなります。

・MOディスクを分解しないでください。

・衝撃を与えないでください。

・強い磁界が発生するところに置いたり、近づけたりしないでください。
　→データに悪影響をおよぼす場合があります。

・ほこりなどにさらさないでください。

・直射日光を当てないでください。

・MOディスクのクリーニングを行ってください。
　→MOディスクの表面に、ほこりやたばこの煙などが付着し、MOディスクが正常に動作できなくなることがあります。市販のMOディスククリーニングキットを使って、定期的にクリーニングを行ってください。

・MOディスクにラベルを貼るときは、ラベルの貼付位置からはみださないように、しっかりと密着させて貼ってください。
　→ラベルの一部がはみだしたり、浮き上がっている状態でMOドライブに挿入すると、ラベルがドライブ内部で剥がれ、MOディスクが取り出せなくなることがあります。

禁 止

市販のレンズクリーナーを使用しないでください。

市販のレンズクリーナーを使用すると、レンズ部に損傷を与える恐れがあります。レンズ部はほこりが入らない構造になっていますので、レンズのクリーニングは必要ありません。

禁 止

アクセスランプが点灯している間は、パソコンの電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしないでください。

データを消失・破損する恐れがあります。

特長

● **FireWire(IEEE1394)に対応**
高速シリアルインターフェースFireWireに対応しています。最大400Mbpsでのデータ転送が可能です。

● **プラグ&プレイ、ホットプラグに対応**
本製品やパソコンの電源が入った状態でも、ケーブルを抜き差しして自由につなぎ替えられます。

● **最大63台の機器を接続できます。**
ツリー型接続の場合は最大63台(パソコンを含む)、デイジーチェーンの場合は最大17台(パソコンを含む)の機器を接続できます。また、機器間のケーブルの長さは最大4.5mです。

● **各種容量のMOディスクを使用可能**
128MB、230MB、540MB、640MBのMOディスクが使用可能です。

● **ダイレクトオーバーライト方式(DOW)に対応**
230MB、540MB、640MBのMOディスクでダイレクトオーバーライト方式による高速書き込みが可能です。

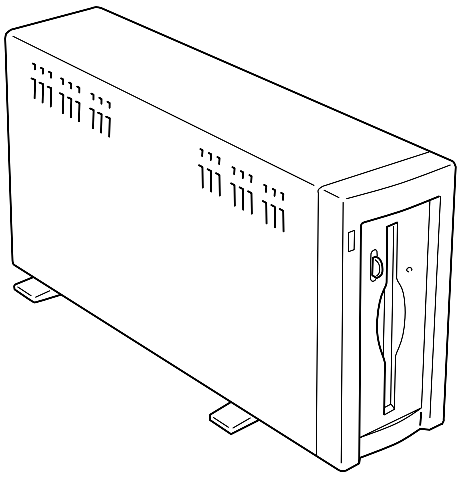
※ ダイクトオーバーライト方式で書き込むためには、MOディスクもダイレクトオーバーライト方式に対応している必要があります。

● **「Disk Drive TuneUp-SE」標準添付**
MOディスクをフォーマットする「Disk Drive TuneUp-SE」(ソフトウェアアーキテクツ社製)が本製品には付属しています。

パッケージの内容

パッケージには次の物が梱包されています。万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

●MOFW(本体) 1台



●FireWireケーブル 6ピン←→6ピン(1m) ..1本

●イジェクトピン 1本

●Disk Drive TuneUp-SE
- **CD-ROM 1枚**
- **クイックリファレンス 1冊**
- **ユーザー登録カード (ソフトウェアアーキテクツ社) 1枚**
- **シリアル番号シール (ソフトウェアアーキテクツ社) 1枚**

※ソフトウェアアーキテクツ社用ユーザー登録カードに貼ってご返送ください。
※ 株式会社メルコ用ユーザー登録はがきには貼らないでください。

●ハードウェアマニュアル(本書) 1冊

●640MB MOディスク(未フォーマット) 1枚

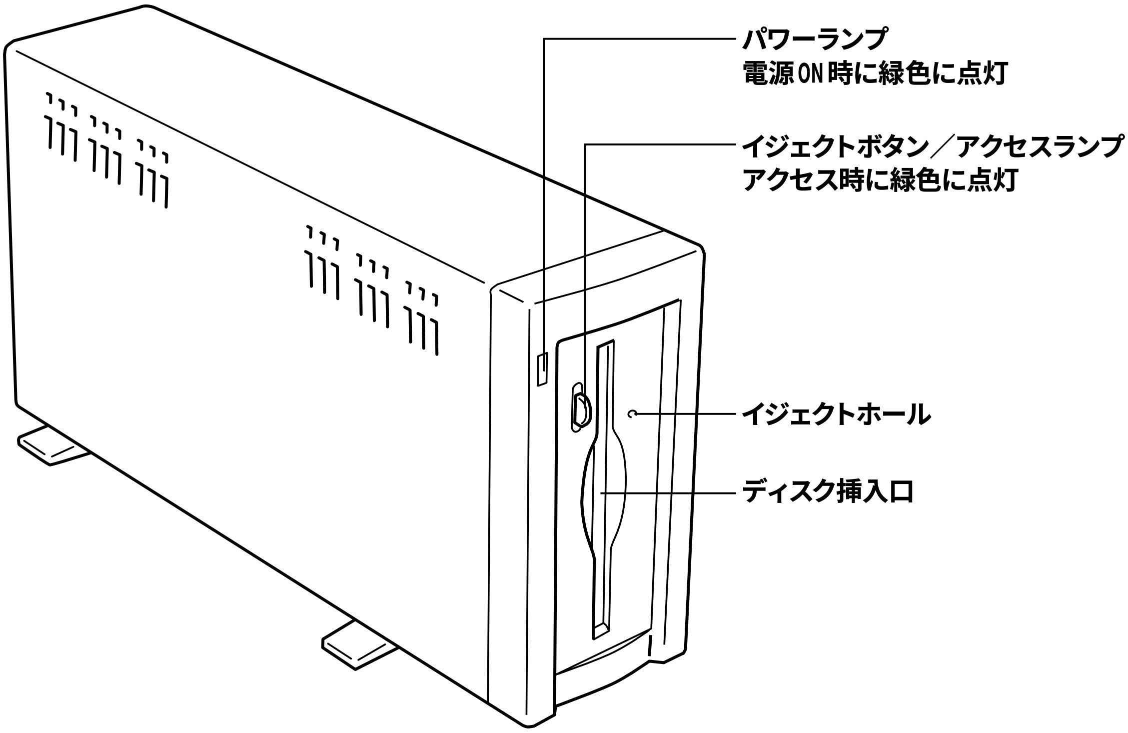
●保証書、ユーザー登録はがき (株式会社メルコ) 1枚

※ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。

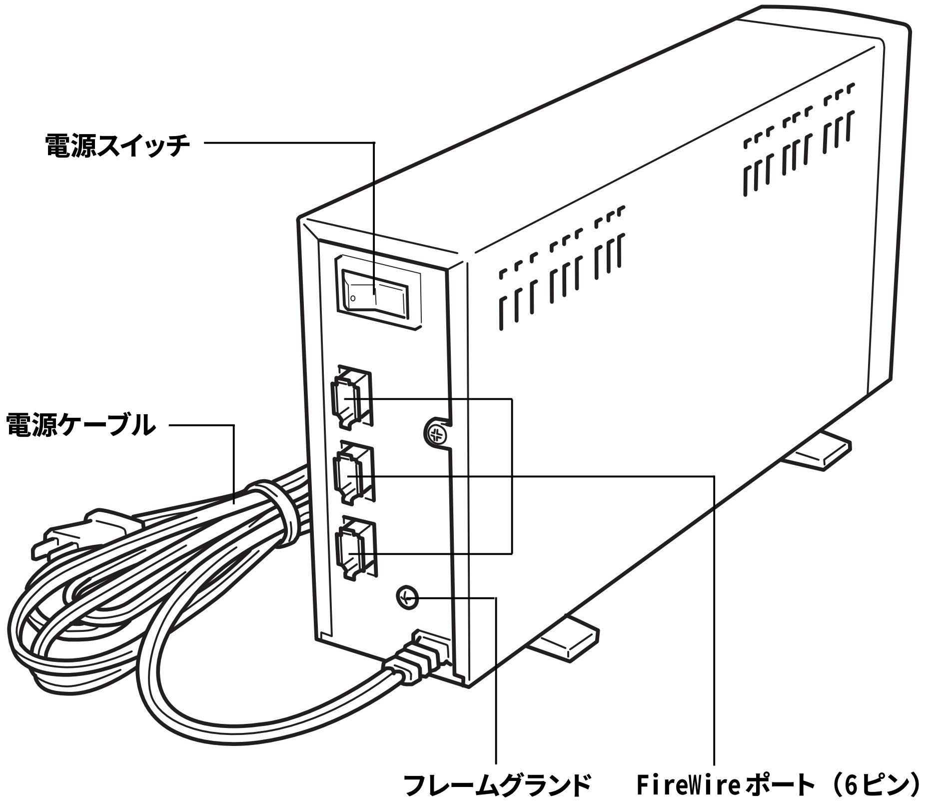
※ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

各部の名称

● 前面


パワーランプ
電源ON時に緑色に点灯
イジェクトボタン／アクセスランプ
アクセス時に緑色に点灯
イジェクトホール
ディスク挿入口

● 背面


電源スイッチ
電源ケーブル
フレームグランド
FireWireポート（6ピン）

セットアップのながれ

MOFW のセットアップ手順は次のとおりです。

パソコンの電源スイッチをONにする

▼

付属のCD-ROMでフォーマットユーティリティ「Disk Drive TuneUp-SE」をインストールする

※「Disk Drive TuneUp-SE」にはMO用機能拡張ファイルも含まれています。「Disk Drive TuneUp-SE」をインストールしないと、パソコンにMOFWを接続しても、マウントされません。

―― **別冊「Disk Drive TuneUp-SEクイックリファレンス」参照**

▼

MOFWの電源ケーブルをACコンセントに接続する

▼

MOFWのFireWireポートにFireWireケーブルを接続する

▼

MOFWの電源スイッチをONにする

▼

パソコンのFireWireポートにFireWireケーブルを接続する

―― **本書（ハードウェアマニュアル）参照**

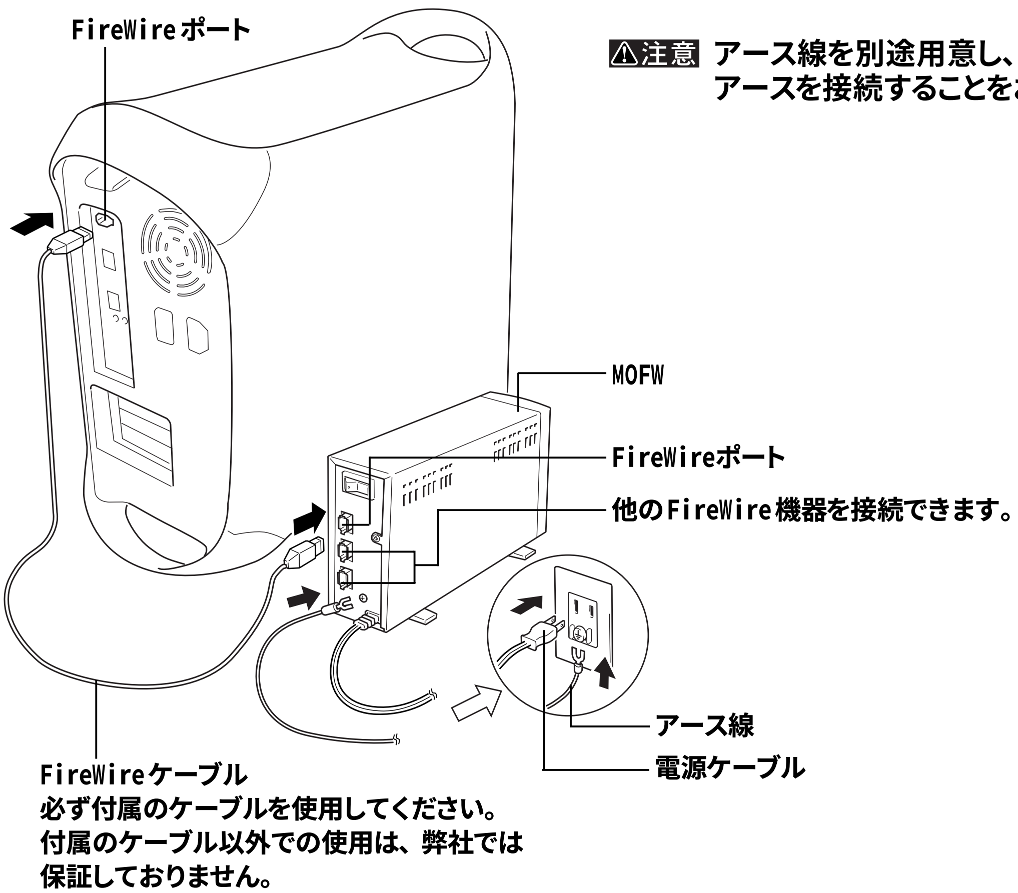
接続のしかた

パソコン本体のFireWireポートに接続します。

メモ **MOFWをパソコンに接続する前に、付属のCD-ROMで「Disk Drive TuneUp-SE」をインストールしておいてください。Disk Drive TuneUp-SEをインストールしないと、MOFWをパソコンに接続してもマウントされません。**

Disk Drive TuneUp-SEのインストール手順や操作方法は、別冊「Disk Drive TuneUp-SEクイックリファレンス」を参照してください。

⚠注意 **アース線を別途用意し、すべての機器にアースを接続することをおすすめします。**

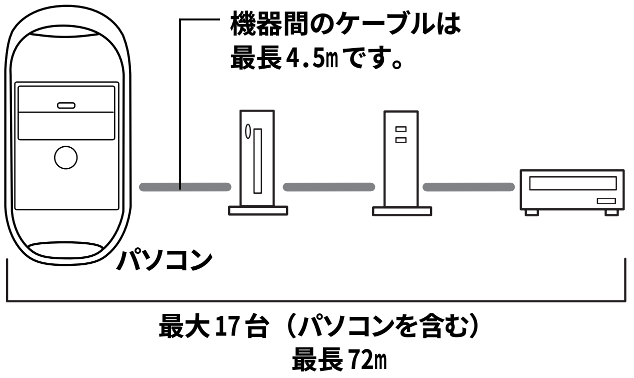


メモ **FireWireポートが複数ある場合、FireWireケーブルはどのポートに接続しても構いません。**

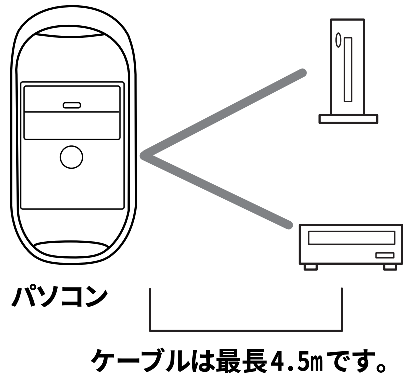
⚠注意
- **FireWireではホットプラグ（※）が可能ですが、MOディスクをMOFWに挿入しているときはケーブルを抜かないでください。FireWireケーブルを抜く前に、必ずMOFWからMOディスクを取り出してください。**
  MOディスクがマウントされた状態でFireWireケーブルを抜くと、警告メッセージが表示されます。このようなときは、FireWireケーブルを接続し直してください。
  ※ パソコンの電源スイッチがONの状態でケーブルを抜き差しすること
- **MOディスクがマウントされた状態で、MOFWの電源スイッチをOFFにしないでください。**
  MOディスクがマウントされた状態で電源スイッチをOFFにすると、警告メッセージが表示されます。このようなときは、MOFWの電源スイッチをONにしてください。

複数のFireWire機器を接続するときは、次の図のように接続してください。

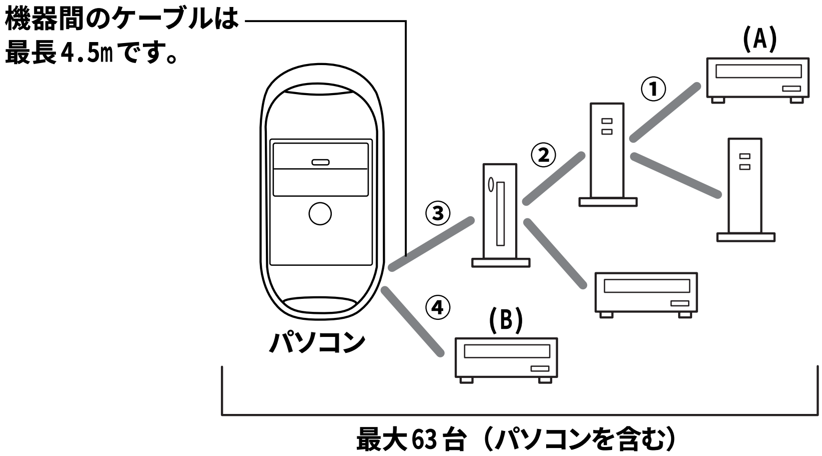
● デイジーチェーンの場合



● スター型の場合



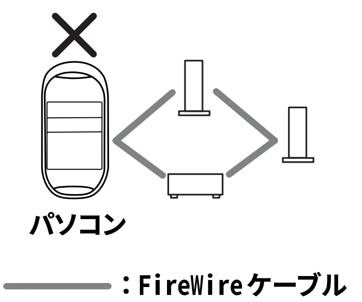
● ツリー型の場合



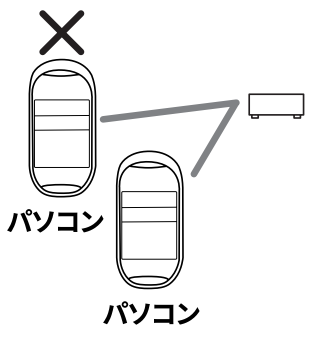
※ 終端から終端の機器の間に使用できるケーブル数は最大16本（16ホップ）です。
左図の例での終端は(A)と(B)となり、その間のケーブル数は ①～④の4本（4ホップ）となります。

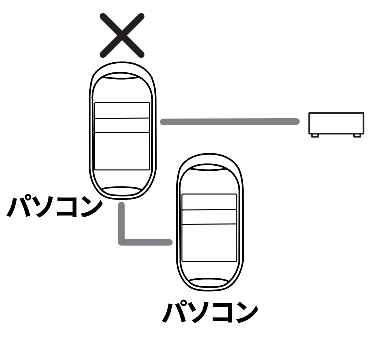
⚠注意 次のような接続はできません。

（リング型）



（スター型） 1台のMOFWを複数のパソコンに接続して使用することはできません。





MOFWの使いかた

使用時の注意

● **MOディスクの初期化について**
MOディスクは、使用する前に初期化(フォーマット)する必要があります。MOディスクのフォーマットには、本製品付属の「Disk Drive TuneUp-SE」を使用してください(Mac OSに標準に付属しているフォーマッタは使用しません)。
Disk Drive TuneUp-SEのインストール方法や、Disk Drive TuneUp-SEによるフォーマット手順は、別冊「Disk Drive TuneUp-SEクイックリファレンス」を参照してください。また、Disk Drive TuneUp-SEの操作方法や製品情報に関しては、ソフトウェアアーキテクツ社日本事務所までお問い合わせください。
【「Disk Drive TuneUp-SEクイックリファレンス」参照】

※ 株式会社メルコでは、Disk Drive TuneUp-SEに関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

● **MOディスクにラベルを貼るときは、指定の位置からはみ出さないようにしてください。**
MOFW内でラベルがはがれると、MOディスクが取り出せなくなることがあります。
取り出せなくなったときは無理に取り出そうとせず、そのまま弊社修理センターまで修理をご依頼ください。【P13】

● **MOディスクにアクセスしているとき(アクセスランプが点灯しているとき)は、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。**
MOディスク内のデータが破損するおそれがあります。

● **DOSフォーマットのMOディスクについて**
次の場合、DOSフォーマットのMOディスクをMOSにセットすると、Mac OSに標準で付属しているフォーマッタが起動します。Mac OSに標準で付属しているフォーマッタが起動したときは、[取り出し]ボタンをクリックしてMOディスクを取り出してください。

・**640MBのMOディスクを挿入した**
DOSフォーマットの640MBのMOディスクは、Mac OSでは使用できません。
※DOSフォーマットのMOディスクの場合は、128MB/230MB/540MBが使用できます。

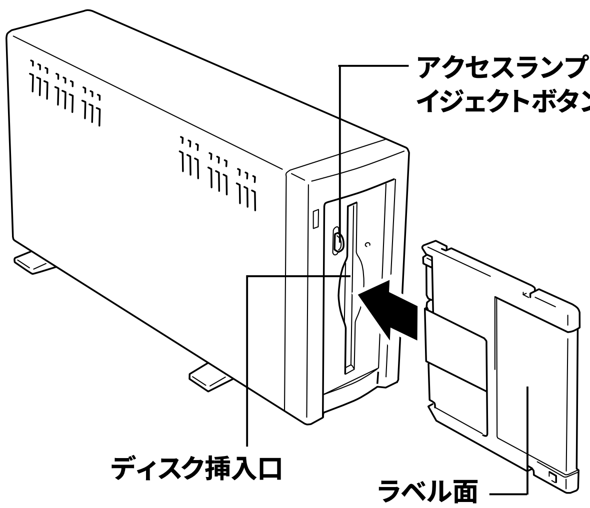
・**File Exchangeが無効になっている**
File Exchangeの設定が無効になっていると、DOSフォーマットのMOディスクは使用できません。
※ File Exchangeは[アップルメニュー]－[コントロールパネル]－[File Exchange]で設定できます。
DOSフォーマットのMOディスクを使用するには、[File Exchange]の[PC Exchange]タブ内のチェックボックスが3箇所すべてチェックされている必要があります。

MOディスクの挿入

MOディスクのラベル面を左側に向け、ディスク挿入口に挿入します。

正しく挿入されると、アクセスランプ(緑色)が3～4秒間点灯し、デスクトップ画面にMOディスクのアイコンが表示されます。

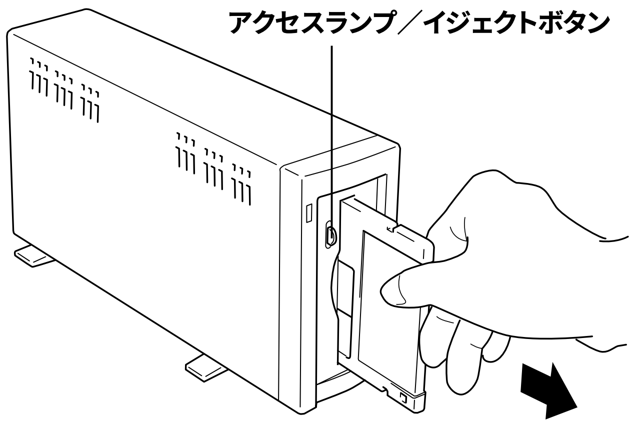
⚠注意 パソコンからMOディスクへのアクセスは、アクセスランプが消えてから行ってください。アクセスランプの点灯中は、MOディスクにアクセスできません。



MO ディスクの取り出し

MOFWのアクセスランプが消えていることを確認し、MOディスクのアイコンをデスクトップの［ゴミ箱］へドラッグ&ドロップします。

MOディスクが2～3cm出てきたら、手で取り出します。

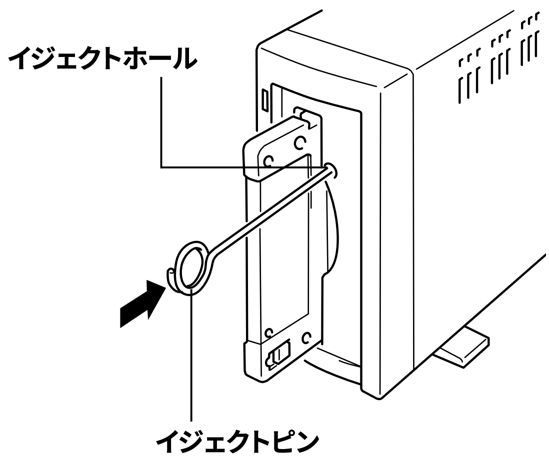


MO ディスクが取り出せないとき

停電などによってMOディスクがMOFWに入ったままパソコンやMOFWの電源が切れてしまうと、MOディスクが排出できなくなってしまいます。

その場合は、付属のイジェクトピンをイジェクトホールに差し込み、強制的にMOディスクを排出してください。

⚠注意 この操作は、必ずパソコン本体およびMOFWの電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

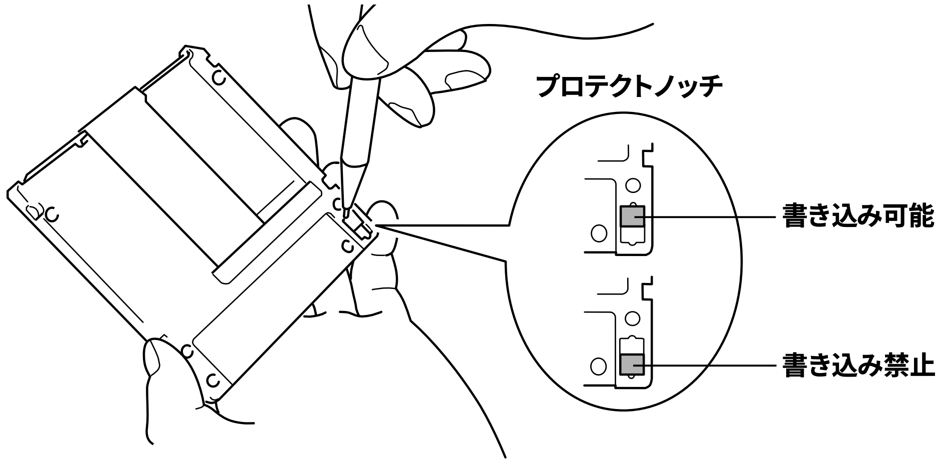


MO ディスクを書き込み禁止にするとき

MOディスクに記録したデータを誤って消去してしまわないように、MOディスクへの書き込みを禁止できます。

ボールペンなどを使って、MOディスクの背面にある「プロテクトノッチ」を書き込み禁止の位置に移動させてください。

再度データを書き込むときは、プロテクトノッチを書き込み許可の位置に移動させます。



製品仕様

製品型番		MOFW-643/A
インターフェース		FireWire（IEEE1394）インターフェース（6ピン）×3ポート
ディスク		3.5インチ光磁気ディスクカートリッジ（ISO規格準拠）
記憶容量		128/230/540/640MB
ダイレクトオーバーライト方式		対応
回転数		4300rpm
平均シークタイム		28msec
平均回転待ち時間		7msec
データ転送レート		最大400Mbps
バッファメモリ容量		512KB
外形寸法		42(W)×121(H)×236(D)mm
平均消費電力 （ランダムシーク時）		6.2W
電源		AC100V 50/60Hz
動作環境	温度	5〜35℃
	湿度	20〜80%（結露無きこと）
パワーランプ（緑色）		点灯：電源ON　消灯：電源OFF
アクセスランプ（緑色）		点灯：MOディスクにアクセスしている、または電源スイッチをONにした直後、MOディスクを挿入した直後 消灯：MOディスクにアクセスしていない
対応機種		FireWire（IEEE1394）インターフェースを搭載する Apple製　Power Macintosh
対応機種		MacOS 8.5.1以降

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)をご参照ください。

■保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

■ 修理について

故障と思われる症状が発生したときは、まずマニュアルを参照して設定や接続が正しいか確認してください。改善されない場合は、次の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付し、弊社修理センター宛に製品を直接お送りください。

① 返送先 ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
② 平日昼間の連絡先
［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 ［始めから/ある日突然/環境を変えたら］
⑧ 発生頻度 ［必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他］
⑨ コンピュータ ［本体メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑩ ハードディスク ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑪ ディスプレイ ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑫ その他周辺機器 ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑬ OS(オペレーティング・システム)
［ソフト名/メーカ名/バージョン］
⑭ 製品以外の添付品 ［付属ソフトなど］

製品送付先	〒456-0023 名古屋市熱田区六野2-1-3 中京倉庫内33号6階 株式会社メルコ 修理センター宛
電話番号	052-889-2104

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。
※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。
※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスクはフォーマットいたします。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。
※ 修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

■ Disk Drive TuneUp-SEのサポートについて

付属のユーザー登録カード（ソフトウェアアーキテクツ社）は、必要事項をご記入の上、付属のシリアル番号シールを貼って必ず郵送してください。また、Disk Drive TuneUp-SEの操作方法や製品情報に関しては、ソフトウェアアーキテクツ社日本事務所までお問い合わせください。【「Disk Drive TuneUp-SEクイックリファレンス」参照】

※ 株式会社メルコでは、Disk Drive TuneUp-SEに関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

MOFW-643/A ハードウェアマニュアル

1999年8月5日 初版発行
発行　　株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

（ミラーサーバ　http://www.melcoinc.com/）

NIFTY SERVE

MELCO Station　＜GO SMELCO＞

FAX情報

052-614-6911

情報を受け取りたいFAXの電話でダイヤルし、音声案内に従って操作してください。
※プッシュ信号（ピ・ポ・パ音）の出るFAXを使用してください。

製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15
株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

＜東　京＞ 03-5350-7990

月～金　9:30～12:00/13:00～19:00　※祝日を除く
土/祝　9:30～12:00/13:00～17:00　※日曜日を除く

＜名古屋＞ 052-619-1188

月～金　9:30～12:00/13:00～17:00　※祝日を除く

※事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- コンピュータ名と使用OS
- 本製品の製品名とシリアルナンバー
- 現象（具体的なエラーメッセージなど）

「メルブック」シリーズ

①メモリを知ろう
②LANを知ろう
③外部記憶装置を知ろう
④Windowsを知ろう
⑤386マシンをマルチメディアパソコンにする
⑦CPUアクセラレータを知ろう
⑪イメージクリップセットとWordで年賀状をつくろう
⑫外部記憶装置をグレードアップしよう
⑬イメージクリップボードでホームページをつくろう
⑭インターネットを始めよう
⑮ミニコンポ 企業での導入事例

1冊1,000円＋送料270円　※書店では販売しておりません。

お申し込み先		
	1.インターネット	http://www.melcoinc.co.jp/qa/info3.html
	2.FAX情報	052-614-6911(BOX No.0800)
	3.郵送	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ 備品販売窓口